

大規模土砂災害合同防災訓練を実施しました

・「道路啓開」を前提とした初めての訓練！

・今回から「学習型」の防災訓練にて実施！

多治見砂防国道事務所

平成24年11月17日（土）中津川市において、国土交通省（中部地方整備局、多治見砂防国道事務所）、岐阜県、長野県、中津川市、恵那市、瑞浪市、木曽郡南木曽町、中津川警察署（総勢：114名）と合同防災訓練（「学習型」防災訓練）を実施しました。

震度6強の地震により土砂災害が多発、情報共有を如何に行うか！

地すべり、河道閉塞が発生！住民避難や緊急輸送路の確保、応急対策の検討

二次災害防止のため国、県、市が連携し、関係機関の協力のもとに対応

多治見砂防国道事務所では、H18年度の中津川市を皮切りに、これまで管内の6市町村において順次合同防災訓練を実施してきました。

国土交通省

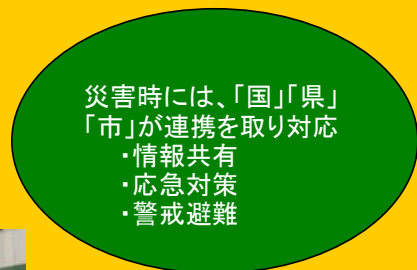


応急対策工の説明



監視観測計画説明

県



市町村



応急対策工検討

※道路啓開とは、応急復旧の前に復旧・支援ルートを確保することで、今回の訓練では『中部版「くしの歯作戦」』で道路ネットワークを確保することを目的に実施しました。

※学習型とは、これまで行われた来た「ロールプレイング方式」とは異なり、進行者が状況付与を行い、訓練参加機関が回答する形式で進められます。

参加機関相互で他機関の流れや役割を確認しながら自らの役割を確認できる訓練方法です。